

Curtis[®]

G4 GemX Twin Brewer

取扱説明書



ブルーマチックジャパン株式会社

目次

・安全上のご注意(必ずお読みください)	3
・マシンの仕様について	6
・付属品について	6
・準備する まず、確認を！	7
・マシン各部の名称	8
・オープニング作業	10
・抽出の手順	11
・コンテナのLEDランプゲージについて	13
・クローズ作業	14
・コンテナのお手入れ	15
・エラー表示	16
・故障かな？	17
・保障とアフターサービスについて	19
・保証書	20

安全上のご注意(安全に関する重要事項です必ずお読み下さい)

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使い下さい。

表示されているマークの説明



警告 この表示は誤った取扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性がある事を示しています。



注意 この表示は誤った取扱をすると人が傷害を負うなどの人的・物的損害が起きる可能性がある事を示しています。

一般的な注意事項



警告

- 製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行わないで下さい。
修理や分解組立が正しく行われないと、製品が正常に動作せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。
また、本体を改造することも絶対に行わないで下さい。水漏れや感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源コードを抜いて下さい。
そして、直ぐに販売店もしくはサービスセンターに連絡して下さい。
(電源コードを抜く時には、感電や火傷をしないようにして下さい)
- 本体の内部にある部品や電気配線や配管などには手や体を接触させないで下さい。
火傷や感電の原因になります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動した可能性がある時には速やかに電源を切り販売店もしくはサービスセンターに連絡して下さい。そのままで使用すると感電や火災などの原因になります。
- 本体が水に濡れた場合や付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めて下さい。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って引火や爆発の危険を避けて下さい。
- 製品を移動する場合には、電源に繋がれていない事また、十分に冷えている事を確認して行ってください。火傷や感電の原因となります。



注意

- 電気製品を使用する際には火事・感電・怪我の危険を避ける為に、常に安全のための基本的な注意事項を守る事が大切です。
電気製品を取扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用下さい。
- 製品の点検やお手入れをする時には、必ず主電源を切り電源コンセントを抜いて行って下さい。感電や火傷の原因となります。
- 電源コードをコンセントへ抜き差しする時には電源コードの取扱いに十分に注意して下さい。
また、電源コードに人や物が絡まったり、躓いたり、踏まれたりしないようにして下さい。感電や火災や怪我の原因になります。
- 長時間製品を使用しない時には、本体の電源スイッチを必ず切ってください。また、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源プラグから抜いて下さい。
- 表面が熱くなっている部分には触れないで下さい。火傷や怪我の原因になります。
- 火事・感電・怪我を防ぐために電源コード・電源プラグ・電気製品を水や液体に浸さないで下さい。
- 子供が電気製品を使用する時には十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用する時には、細心の注意を払って下さい。
- 部品の取付け・取外し又は清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行って下さい。
- 電源コードや電源プラグが傷んでいる場合や正常に動かない時には作動をさせないで下さい。

- 付属品以外の物を使用しないで下さい。火事・感電・怪我の原因になる事があります。
- 野外で使用しないで下さい。
- 電源コードが卓上・カウンター上または表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにして下さい。
- ガスコンロ・電熱器・熱くなったオープンの上やそばに置かないで下さい。
- 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後で電源プラグをコンセントに差し込んで下さい。
- マシンの電源スイッチを OFF にしてからコンセントから電源プラグを取り外して下さい。
- 本来の目的以外には使用しないで下さい。
- お湯が抽出されている時には十分に注意して下さい。火傷・怪我の原因になります。
- このマシンは業務用のマシンです。

設置及び据付時の注意事項



警告

本製品は、使用及び保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所、又は訓練を受けた要員が監視できる場所に据付して下さい。

- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量が不足したり設備工事に不備が無いようにして下さい。
感電・火災の原因になります。
- 製品の据付は認定されたサービスマン以外では絶対に行わないで下さい。
- 据付を行う時には本体の電源コードが損傷をしたり、無理な配線をしたりしないようにして下さい。
電源コードが傷んだままで使用をすると感電・火災の原因になります。
- コンセントの形状は接地コンセントのものをお使い下さい。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。
また、接続する前にマシンの規格が供給される電源に適合している事を確認して下さい。
- 電源装置には、保護装置(30A 漏電遮断器)が設置されている事を確認して下さい。



注意

- 設置及び据付を行う際には本体を落下させたり倒したりしないで下さい。落下や転倒などにより怪我の原因になります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置して下さい。
不安定な場所に設置をすると落下や転倒などによる怪我の原因になります。
- 天然木や天然石の上に置く場合には、マシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散して表面を汚したり変質の原因となる事があります。
水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置したり、直接当たらない様に保護を行って下さい。
- 設置周辺温度が 45℃以上になる場所、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには、
設置をしないで下さい。内部の電気部品などの故障の原因になります。
- 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから 10cm 以上離して設置して下さい。
熱がこもると電気部品などの故障の原因になります。
- マシンの給水ホースに架かる水圧は **0.13~0.5 メガパスカル(MPa)** の範囲である事を確認して下さい。故障や誤作動の原因になります。
- 軟水装置もしくは浄水器を使用する事をお勧めします。水質起因の故障リスクを軽減します。

使用環境条件

気温: 5-45℃(凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を抜いて下さい)

湿度: 80%以下

- (注)お湯では無く必ず水を給水して下さい。
- (注)水以外の飲料(例えばミルクなど)や純水、ミネラルウォーター類を使用しないで下さい。

操作を行う時の注意事項



- 給湯フォーセットは熱くなっていますので注意して取扱いを行って下さい。火傷・怪我の原因になります。
- 顔や手に熱湯がかからない様に常に注意をして取扱いを行って下さい。
- スイッチや電源プラグを水に濡れた手で操作をしないで下さい。感電の危険性があります。
- コーヒー抽出口やコーヒーを入れる容器の洗浄は規定通りに実施して下さい。
洗浄を行わず放置しておきますと細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。

使用時とメンテナンス時の注意点

- マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行って下さい。
メンテナンス及び安全性の確認は操作内容を十分に理解して行って下さい。
- 水の供給をしないでマシンを使用しないで下さい。
- 0℃以下になる室内に水系統から水抜きをしないままマシンを放置しないで下さい。
- 硬度の高い水を使用する場合には、軟水器を使用してカルシウム成分の固着を防いで下さい。
- 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないで下さい。

マシンの毎日の清掃、特に抽出口やブルーイングコーン・デキャンター・ポット等容器の洗浄を正しく実施しないで故障が発生した場合には製品保証の対象となりません。

コンテナをご使用の際の注意事項



- コンテナを水に浸す、電極部分を濡らすなどしないでください。漏電や故障の原因になります。



- 定期的に清掃を行ってください。

マシンの仕様について

G4 GemX Twin Brewer (UCM rev.AA)	使用電源	単相 200V 20A
	電気容量	3950W
	タンク容量	26L
	温度制御	温度センサー
	抽出方式	ダンプバルブ方式
	使用スプレーヘッド	パープル
	許容静水圧	0.13～0.5 メガパスカル (MPa)
	必要給水流量	7.6ℓ/分

※コーヒーマシンは、水道直結の仕様です。

付属品について

- マシン本体
- ブルーイングコーン × 2 個
- テスト用フィルターペーパー
- 取扱説明書 × 1 部

準備する 製品の据付は認定されたサービスマンが行います。

1. 設置する。

次のような場所に置いてください。

- 床に防水処理がされている場所
- 5-45℃の室内で熱気・直射日光の当たらない場所
- 湿気が少なく、風通しの良い場所
- 平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所
- 電源プラグが掃除しやすい場所
- 放熱スペースを確保できる場所（左右 10cm 以上、後方 10cm 以上、上 10cm 以上）

2. 給水を接続する。

コーヒーマシンに浄水器を通した水道水を供給する。コーヒーマシン背面の給水口に給水ホースを接続する。接続後、水漏れが無い事を確認する。

3. 電源コンセントに差す。

単相 AC200V、20A または 30A を使用する。

まず、確認を！

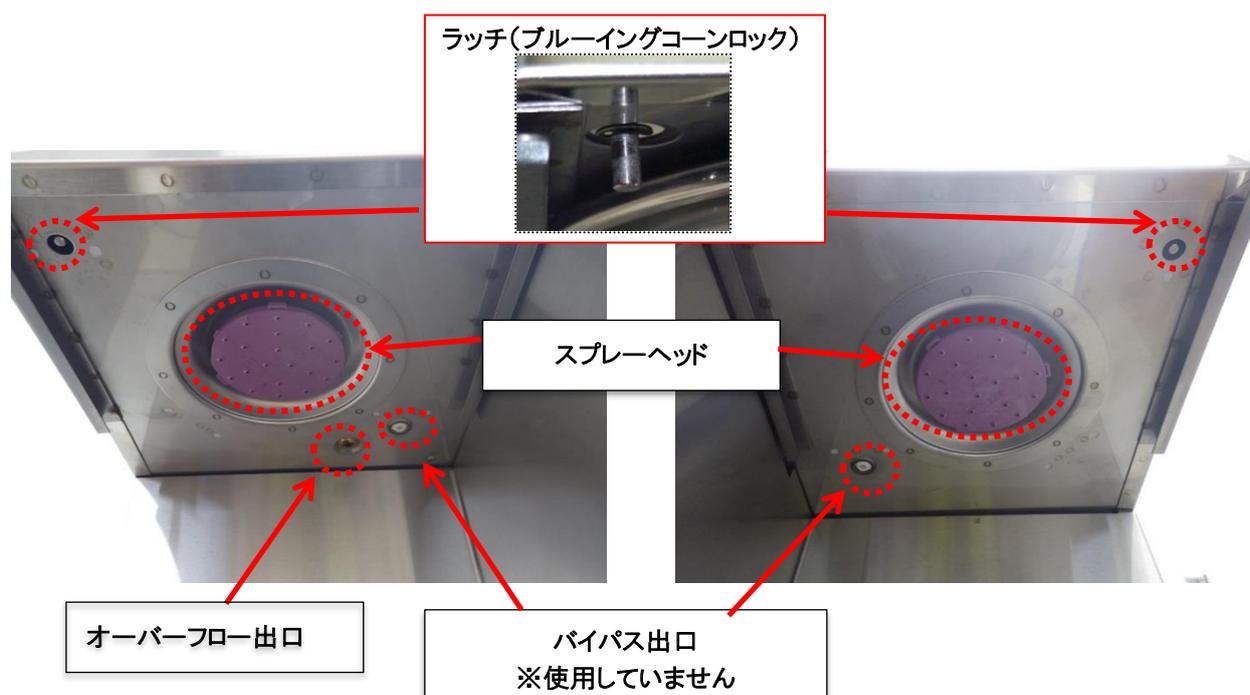
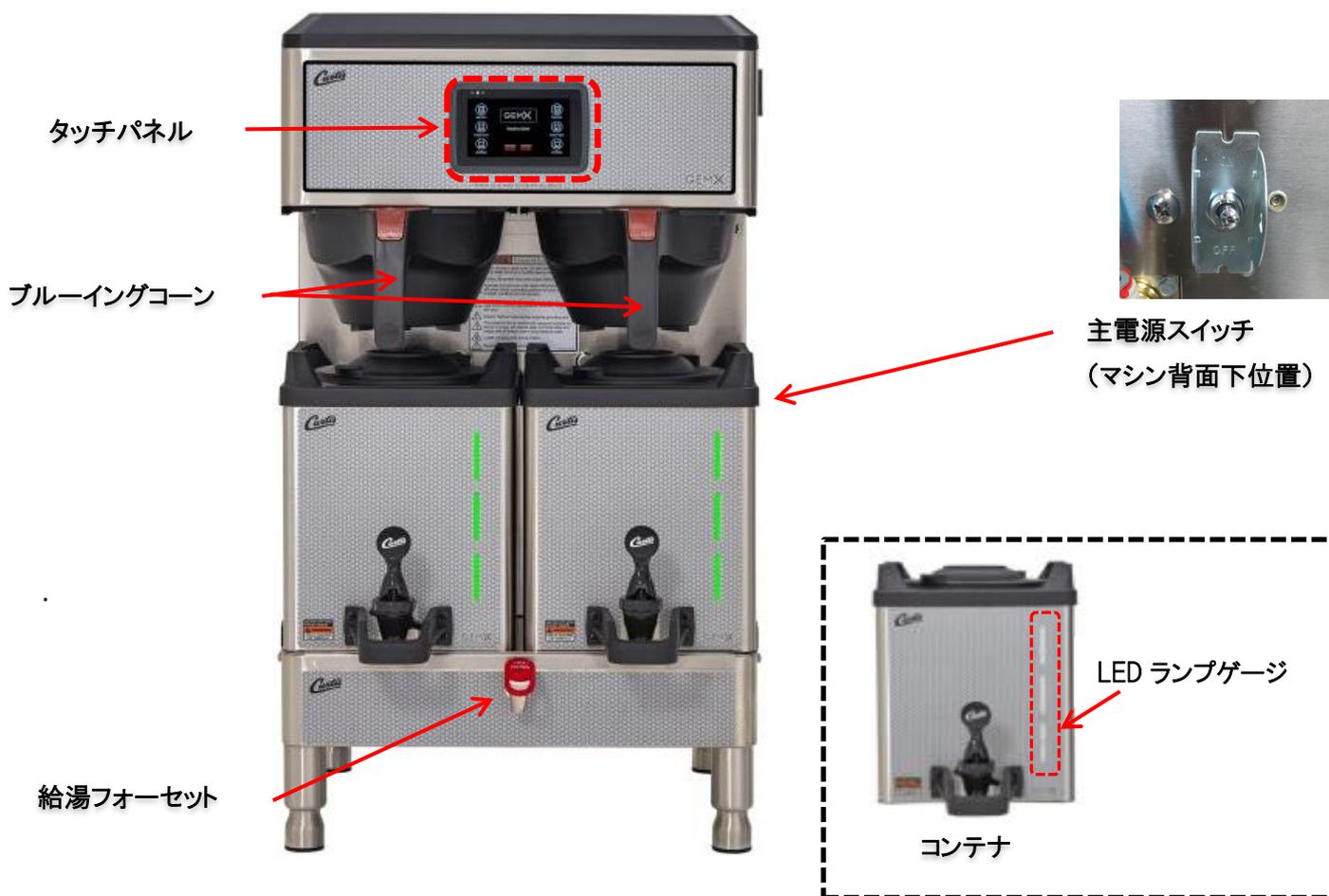
次のような場所に置いていませんか？

- 熱気・直射日光のあたる場所
- 5℃を下回る冷えた環境
- 不安定で傾いたところ
- 湿気が多く、風通しの悪い場所
- 電源プラグが掃除しにくい場所（埃が溜まり、発火の原因に）

放熱スペースは空いていますか？

安全にお使いいただくために、必ずアース線の接地と漏電遮断器の取り付けを実施してください。

マシン各部の名称



タッチパネル

LED 表示

タッチ有効範囲

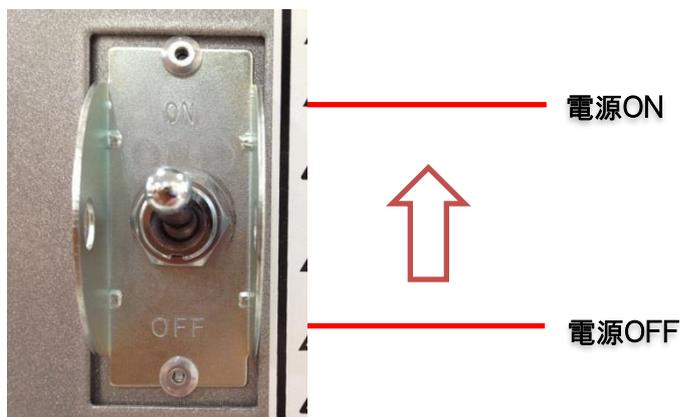


- ・主電源スイッチ …………… マシン背面右下位置にあるコーヒーマシンの電源を入れるスイッチです。
- ・タッチパネル …………… 静電容量式のタッチパネルです。タッチ有効範囲内の操作ボタンを指でタッチしますと「ピッ」とタッチ検知音が鳴ります。画面には操作ボタンに加え、マシンの状態やエラー等を表示します。
(指が乾燥していると、タッチを検知しないことがあります。タッチパネル表面にテープやラベルなどを貼りつける、汚れた指や濡れた指で操作するなどしないでください。操作していないのにタッチ検知するなどの誤作動の原因になります。)
- ・給湯フォーセット …………… お湯を取り出す蛇口です。
(タンク内のお湯を取りますので、抽出中は使わないでください。コーヒーの量や温度、エラーの原因になります。)
- ラッチ …………… 安全のために、抽出中にブルーイングコーンが抜けないようにロックする機能。
(ブルーイングコーンロック) …………… 抽出開始時にコーンロックが下り、抽出完了または抽出停止でコーンロックが上がります。
- ・スプレーヘッド …………… 21 穴のスプレーヘッドを採用。シャワー状に広がった湯が出ます。
- ・オーバーフロー出口 …………… マシンに異常な給水が発生した場合、タンク内から溢れた水(湯)を排出します。
(タンクの息抜き穴としても兼用しています)
- ・バイパス出口 …………… バイパス加湯の出口です。専用コーンのご使用が必要です。
※使用していません

オープニング作業

1. 主電源を入れる

コーヒーマシン背面下位置に主電源スイッチがあります。スイッチを上へ倒します。



2. ウォームアップ

タッチパネル上部の緑のLEDが点灯し、システムが起動します。タンクが満水になるまで給水され、満水になると、タンクの沸き上げが始まります。タンク内温度が設定温度になると、コーヒー抽出が可能になります。

給水中は「Filling」、沸き上げ中は「Heating」、タンク内温度が設定温度になると「Ready to brew」と表示されます。



初回沸き上げ時間の目安

約 30 分※季節により異なります。

3. コンテナのセット

コンテナをマシンにセットします。コンテナをセットする際ブラケットより後ろに押し込んでセットしてください。

マシンからコンテナに電源が供給されると、全ての「LED ランプゲージ」が1回点灯します。



コンテナ電極に接続

ブラケット(写真の緑線)

4. コンテナの湯煎

コンテナを湯煎して温めます。空のブルーイングコーンをセットして、抽出ボタンを押して「LED ランプゲージ」が全て点灯する量のお湯を溜めます。コンテナが温まったら、湯を受ける容器を用意し、コンテナのフォーセットを開いて全て排水します。

- !** **注意** : コンテナ内に 0.1ℓ 以上残っていても、温度が 75℃ 以下の場合、LED ランプゲージは青点灯で、ウォーマーはオフする仕様です。コンテナが十分に温まっていない状態でコーヒーを抽出しますと、コンテナに熱を奪われ、ウォーマーオンでもコーヒーの温度が低下してしまいます。抽出間隔が開いてコンテナが冷めてしまった場合は、冷めた飲料を廃棄した後に、正しい手順でコンテナの湯煎を行ってから、コーヒーを抽出することをお勧めします。
- 特に、抽出量が少ない(500ml以下)ときは多いときに比べ、コンテナ内温度が下がりやすいです。ご注意ください。

抽出の手順

1. フィルターペーパーにコーヒー粉を入れて、マシンにセットします。

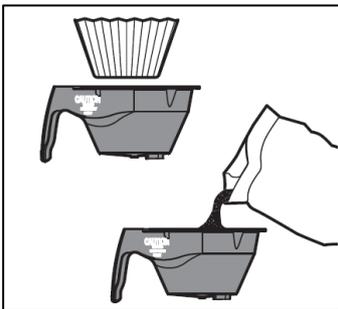
1-1 ブルーイングコーンにフィルターペーパーを 1 枚セットし、抽出するボタンに合った量のコーヒー粉を入れてから、コーヒー粉の偏りを均します。

※ペーパーの2枚重ね、折れ、コーヒー粉の偏りがあると、味に影響します。

1-2 ブルーイングコーンをマシンのレールに沿って奥まで挿入します。

1-1

1-2



2. 抽出開始

タッチパネルの「抽出メニューボタン」を 2 秒間タッチします。ピーと抽出開始音が鳴って、抽出が開始します。

「Heating」と表示されている場合は、「Ready to brew」と表示するまで待つから「抽出メニューボタン」をタッチします。

- !** **注意** : 「Heating」と表示されている間は、タンク内温度が設定温度まで達しておらず、抽出開始できません。



抽出メニューボタン

3. 抽出中

タッチパネルは下記、抽出中の表示に変わり、抽出完了までの残り時間と状況を表示します。

シャワーヘッドから湯が出ている間は残り時間の色が赤、シャワーヘッドからの湯が止まり、ドリップアウトに入ると残り時間の色が黄で表示されます。

ドリップアウト:ブルーイングコーンの中に残ったコーヒーがなくなるまで待機する時間



シャワーヘッドから湯が出ている間の残り時間表示(赤色)



ドリップアウト中の残り時間表示(黄色)

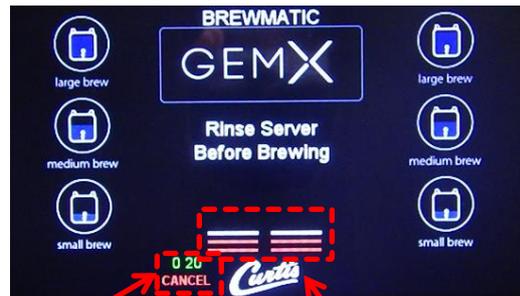
4. 抽出完了

タッチパネルの残り時間表示が 0:00 になると、抽出完了を知らせる 0:00 の点滅し、ピーと完了音が鳴った後、クオリティータイマー(緑色)が表示され、「CANCEL」とタッチするか 0:00 になると、クオリティータイマー表示が消えます。コンテナのウォーマーボタンを 1 秒以上タッチするとウォーマーの強さ(Low/Medium/High)を切り替えられます。

クオリティータイマー:コーヒーが美味しい状態でコンテナに保存可能な時間



0:00 で抽出完了(緑色点滅)



クオリティータイマー
ウォーマーボタン
83°C Low 85°C Medium 87°C High

5. 抽出の停止(キャンセル)

抽出中に「CANCEL」を 0.5 秒以上タッチすると抽出が停止します。このときタッチパネルにクオリティータイマーは表示されません。コンテナの LED ランプゲージは経過時間に関係なく緑色で残量表示します。



注意:抽出を途中で停止した場合は、ブルーイングコーンの中に湯がまだ残っている場合があります。火傷の恐れがありますので、ブルーイングコーンの抽出口からコーヒーが出ていないことを確認してからブルーイングコーンを引き抜くようにしてください。

6. コーヒーカスの廃棄をします。

- 6-1 マシンのレールに沿ってブルーイングコーンを手前に引き抜きます。
- 6-2 ブルーイングコーンからフィルターペーパーだけを取り出し、ゴミ箱に捨てます。
- 6-3 ブルーイングコーンの水で濯ぎます。

コンテナのLEDランプゲージについて

コンテナ右側にあるLEDランプゲージは、内容量やクオリティータイマー、ウォーマーの状態を表しています。

クオリティータイマー：コーヒーが美味しい状態でコンテナに保存可能な時間

1. コンテナのLEDランプゲージと内容量について

点灯しているLEDはおおよそその内容量を示します

- | | |
|---------------------|---------------------|
| ①の点灯/点滅 約 0.1ℓ～0.9ℓ | ②の点灯/点滅 約 0.9ℓ～1.9ℓ |
| ③の点灯/点滅 約 1.9ℓ～3.8ℓ | ④の点灯/点滅 約 3.8ℓ～5.7ℓ |

約 0.1ℓより下回るかコンテナ内温度が 75℃を下回るとウォーマーオフになります。

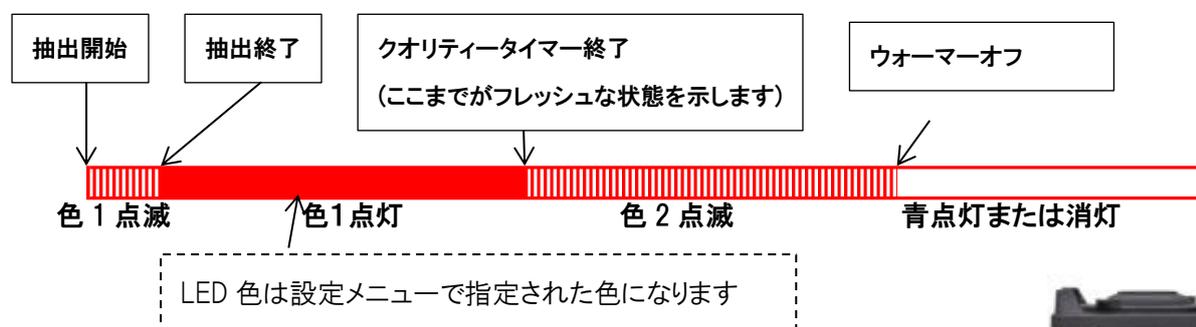
約 0.1ℓより下回ると全ての LED が消灯、

75℃を下回ると内容量表示が青点灯に変わります。



2. クオリティータイマー、ウォーマーの状態について

抽出開始からウォーマータイマーOFFまでのタイムゲージイメージ



2. 1 抽出開始：コンテナが空の状態なのでLEDは消灯しています。
2. 2 抽出中：内容量が 0.1ℓを超えるとLEDは指定された色1（標準設定：白）で点滅します。
2. 3 抽出終了：LEDは指定された色1（標準設定：白）で点灯に切り替わります。
2. 4 クオリティータイマーが有効な期間：LEDは指定した色1（標準設定：白）で点灯しています。
2. 5 クオリティータイマー終了：LEDは指定された色2（標準設定：赤）で点滅を始めます。
2. 6 ウォーマーオフ：（残量有で 75℃未満になると）LEDは青で点灯します。
（残量無の場合）LEDは消灯します。



注意：温めが不十分で抽出中やクオリティータイマーが有効な期間にコンテナ内温度が 75℃を下回ってしまうと、コーヒーの品質を保てません。このときは、LEDは青色点灯になり、ウォーマーオフになります。

LEDが青色点灯の場合は、飲料をすべて廃棄してから正しい手順で湯煎を行ってください。（P11 参照）

クオリティータイマー設定

※標準設定は 2 時間（設定可能範囲は 20 分～3 時間 50 分）

※クオリティータイマーの設定を「Disable」にするとクオリティータイマー機能が無効になります。

無効の場合、LEDは内容量表示のみ動作し、ウォーマーが切れるまで色1（標準設定：白）で点灯し続けます。

ウォーマースタンド使用時のLEDランプゲージの状態について

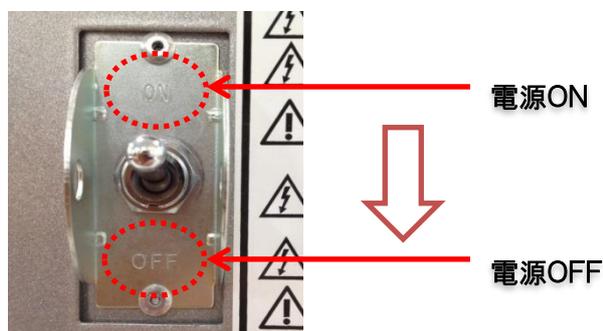
ウォーマースタンドに移動後も、LEDランプゲージの機能は有効です。

クオリティータイマー、設定されたLEDの色はそのままの状態を維持します。

クローズ作業

1. 主電源を切る。

コーヒーマシン背面下位置の主電源スイッチを下に倒します。タッチパネルが消灯します。



2. 清掃をする。

- ・マシン本体からブルーイングコーンとコンテナを外します。
- ・タッチパネル・マシン本体・スプレーヘッドの周辺に付着したコーヒの微粉や汚れを硬く絞った濡れ布巾等で拭き取ります。
- ・週に1度の頻度でスプレーヘッドを取り外して、スプレーヘッド取付部に付着したコーヒの微粉や汚れを拭き取り、スプレーヘッドをお湯でまる洗いして乾燥させてから元の位置に取り付けてください。



スプレーヘッド



- ・シンクでブルーイングコーンとコンテナの蓋をまる洗いして、付着したコーヒの微粉や汚れを落とし、乾燥させます。
洗浄にはお湯と柔らかいスポンジを使います。
汚れがひどい場合は食器用洗剤を使って洗い、十分にお湯ですすいでください。
- ・コンテナの内部を洗浄します。
フォーセットを開き、コーヒをすべて排出した後にコンテナ内部をお湯と柔らかいスポンジを使って洗います。
注意:コンテナは防水構造になっておりません。背面の電極部に水を掛ける、水が溜まるシンクに直に置いて洗浄するなどしないでください。また、コンテナ内部を洗った後は水気を拭き取り、完全に乾燥させてください。
電極部やコンテナ内部に水滴が残った状態で通電しますと、漏電や電気部品の故障が発生することがあります。
注意:破損や腐食の原因となりますので、コンテナ内部の洗浄の際に金属ブラシなどの硬い材質を使う、研磨剤や塩素を含む洗剤を使用するなどしないでください。
- ・コンテナの外装を硬く絞った濡れ布巾等で拭き上げ、乾燥させます。

※長期間使用しない場合、給湯フォーセットからタンクの湯を排出し、水道の元栓を閉めてください。

コンテナのお手入れ(毎週または隔週を目安)

コンテナ容器はコーヒーの油分や微粉の汚れがついてしまうため、定期的にフィルターパウチクリーナーを使用したお手入れをお勧めします。

※フィルターパウチクリーナーは 1 袋で 2.5～5.6L の溶液を作ることができます。

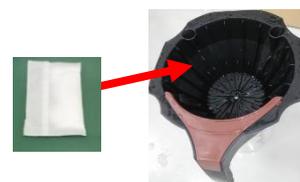
※続けて複数台のコンテナの清掃を行なう場合は作った溶液の再利用が可能です。

注意:コンテナは防水構造になっておりません。背面の電極部に水を掛ける、水が溜まるシンクに直に置いて洗浄するなどしないでください。また、コンテナ内部を洗った後は水気を拭き取り、完全に乾燥させてください。

電極部やコンテナ内部に水滴が残った状態で通電しますと、漏電や電気部品の故障が発生することがあります。

注意:破損や腐食の原因となりますので、コンテナ内部の洗浄の際に金属ブラシなどの硬い道具を使う、研磨剤や塩素を含む洗剤を使用するなどしないでください。

フィルターパウチクリーナー

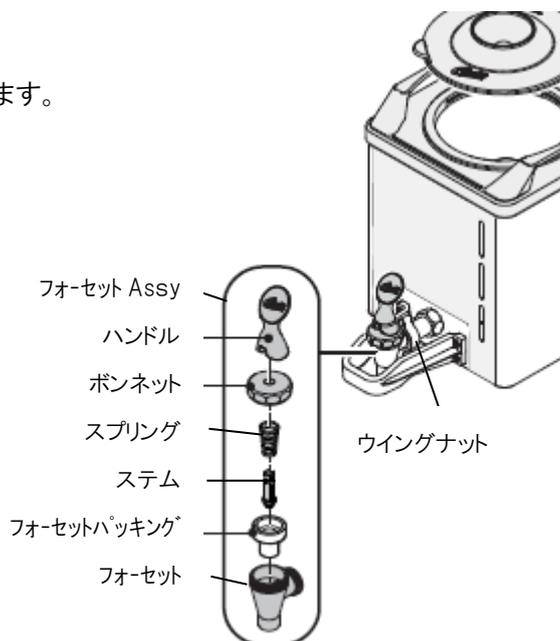


○ フィルターパウチクリーナーを使ったクリーニング

- ① ブルーイングコーンにフィルターパウチクリーナーを 1 袋入れる。
- ② ブルーイングコーンをマシンにセットする。
- ③ コンテナをマシンにセットする。
- ④ コーヒーを抽出するように、コンテナがいっぱいになる量の抽出ボタンを押す。
青い溶液がブルーイングコーンからコンテナに溜まります。
- ⑤ 抽出が終了したら、そのまま 10 分間漬け置きをする。
- ⑥ フォーセットを開き、⑤で使用した溶液を他のコンテナに溶液を注ぎ 10 分間漬け置きする。
- ⑦ 青い溶液を排出したコンテナに少量の湯を注ぎ、柔らかいスポンジで残った汚れを擦り(ア)落とします。
- ⑧ 汚れが浮いたら流水ですすぎ、フォーセットから排水します。
- ⑨ コンテナの外装を硬く絞った濡れ布巾等で拭き上げ、乾燥させます。

○ フォーセット Assy の分解洗浄

- ① ウイングナットを右側に回してフォーセット Assy を外します。
- ② ナイロンブラシを使用してシャンク内部に付着した汚れを清掃します。
- ③ フォーセット Assy を分解します。
- ④ 分解した部品をまる洗いして、付着したコーヒーの微粉や汚れを落とす。食器用洗剤と柔らかいスポンジを使って洗い、十分にお湯ですすぎ、乾燥させます。
- ⑤ 部品が乾燥した後、フォーセット Assy を組み立てます。
※ フォーセット Assy は消耗部品です。
破損、変形や摩耗がある場合は部品を交換してください。
- ⑥ ウイングナットを左側に回してフォーセット Assy を組付けます。



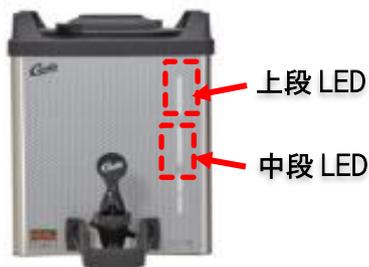
エラー表示

コーヒーマシンのエラー・アラーム表示 (タッチパネルにメッセージが表示されると共に音が鳴ります。)

エラーメッセージ	原因	処置
Water Level Error (給水異常のエラー表示) ※処置を行い、背面のメインスイッチを1度 OFF し、5 秒後に ON します。異常が解消されればエラーメッセージが消えます。	タンクへの給水時、給水電磁弁が電源 ON 後は 10 分以上、通常使用中は 120 秒以上連続して開いても満水にならない。	給水元栓が閉まっていないか確認する。
		マシン後ろ側から接続する給水ホースが折れ曲がっていないか確認する。
		浄水器のフィルターが詰まっていないか確認する。
		処置を行い、再起動後に同エラーが再発する場合は、ご使用を止め弊社コールセンターにご連絡ください。
Sensor Error (温度センサーのエラー表示) ※処置を行い、背面のメインスイッチを1度 OFF し、5 秒後に ON します。異常が解消されればエラーメッセージが消えます。	温度センサーの異常	周囲の環境が 10℃ 以下でないか確認する。
		処置を行い、再起動後に同エラーが再発する場合は、ご使用を止め弊社コールセンターにご連絡ください。
Over Temp. Error (過剰温度検知のエラー表示) ※処置を行い、背面のメインスイッチを1度 OFF し、5 秒後に ON します。異常が解消されればエラーメッセージが消えます。	温度センサーが 99℃ 以上を感知した。	マシン背面下位置の主電源スイッチを OFF(下にさげる)にして、タンク内の湯の温度を冷ましてから、ON(上にあげる)にする。 処置を行い、再起動後に同エラーが再発する場合は、ご使用を止め弊社コールセンターにご連絡ください。

アラームメッセージ	原因	処置
Low Water Flow (給水のアラーム表示) ※給水の流量が少ない異常が解消されると、自動的にアラームメッセージが消えます。症状が継続すると Water Level Error が発生し、エラー停止します。	タンクへの給水時、給水電磁弁が規定の時間以上連続して開いていても満水にならない。	給水元栓が閉まっていないか確認してください。
		マシン後ろ側から接続する給水ホースが折れ曲がっていないか確認してください。
		浄水器のフィルターが詰まっていないか確認してください。

コンテナのエラー（LEDランプゲージの点滅で表示されます。）



コンテナエラー表示	原因	処置
コンテナ上段LEDが点滅	コンテナヒーターの異常	コンテナの内部に水が浸入した可能性がある場合は、乾燥させてください。
		コンテナを引き抜き、マシンの左右反対側にセットします。同エラーが再発する場合は、ご使用を止め弊社コールセンターにご連絡ください。コンテナの預かり修理を承ります。
コンテナ中段LEDが点滅	コンテナ温度センサーの異常	周囲の環境が 5℃以下でないか確認してください。
		コンテナの内部に水が浸入した可能性がある場合は、乾燥させてください。
		コンテナを引き抜き、マシンの左右反対側にセットします。同エラーが再発する場合は、ご使用を止め弊社コールセンターにご連絡ください。コンテナの預かり修理を承ります。
稼働しているマシンにコンテナをセットした直後にLEDランプゲージが点灯しない	コンテナに通電しない	コンテナの内部に水が浸入した可能性がある場合は、乾燥させてください。
		左右のコンテナを引き抜き、マシンの左右反対にセットします。同エラーが同じ側で再発する場合は、マシンの故障の可能性が、同エラーが反対側で再発する場合は、コンテナの故障の可能性があります。ご使用を止め弊社コールセンターにご連絡ください。

故障かな？（お問い合わせや修理を依頼される前にご確認を。）

こんな場合は	原因	処置
主電源スイッチを ON にしても通電しない。	ブレーカーが OFF になっている。 電源プラグが抜けている。	ブレーカーを ON にする。 電源プラグを 200V コンセントに差し込む。 処置をしても復旧しない場合は、弊社コールセンターにご連絡ください。
立ち上げ後タッチパネルに Heating が 30 分以上表示されているがマシンが冷たい	ヒーター過負荷検知 部品の故障	主電源スイッチを切って、弊社コールセンターにご連絡ください。
コンテナの外にコーヒーまたは湯をあふれさせてしまった	ブルーイングコーンやコンテナを正しい位置にセットせずに抽出した コンテナ容量を超えるコーヒーまたは湯を溜めようとした	主電源スイッチを切って、コンテナ外装や本体に溢れたコーヒーまたは湯を拭き取って乾燥させる。コンテナやマシン本体の内部に侵入した可能性がある場合は、完全に乾燥するまで電源を入れない。 漏電や故障が発生する恐れがあります。

こんな場合は	原因	処置
抽出ボタンをタッチしているのに、反応しない。 触っていないのに勝手にキャンセルされた。	タッチパネルに付着した異物、汚れ、水滴等によるタッチ誤検知 乾いた指でタッチ検知できなかった	タッチパネル表面にテープやラベルなどを貼りつけている場合は剥がす。 タッチパネルに付着した汚れや水滴を拭き取る。 指を保温して、指の腹を使ってタッチする。
抽出量がばらつくことがある	抽出中に給湯フォーセットからお湯を汲んだ。 左右同時に抽出をした。 給水の流量、水圧が不安定 供給電圧が不安定	抽出中にお湯を汲まない。 左右同時には抽出しない。 給水流量、水圧が規定内で安定する条件で使用する。 供給電圧が規定内で安定する条件で使用する。 処置をしても再発する場合は、弊社コールセンターにご連絡ください。
抽出量が減った	湯の流量が変化した。 スプレーヘッドが目詰まりしている。 部品の故障	各抽出ボタンの湯量カリブレーションを行う。 スプレーヘッドが目詰まりしている場合はスプレー穴を清掃する。 処置をしても再発する場合は、弊社コールセンターにご連絡ください。
抽出量が増えた コーヒーがフィルターペーパーから溢れる	スプレーヘッドが付いていない。 フィルターペーパーを数枚重ねている。 フィルターペーパーがよれている。 コーヒー粉を入れすぎている。	スプレーヘッドが無い場合は取り付ける。 スプレーヘッドに破損や変形がある場合は交換する。 フィルターペーパー1枚をセットし、コーヒー粉が偏らないように均してセットする。 規定の粉量を使用する。 スプレーヘッドの部品注文は、販売代理店または弊社コールセンターにお問い合わせください。
ブルーイングコーンから抽出されるコーヒーがぬるい	左右同時に抽出、または、抽出中に給湯フォーセットからお湯を汲んで湯温が低くなった。 部品の故障	抽出中にお湯を汲まない。 左右同時には抽出しない。 処置をしても再発する場合は、弊社コールセンターにご連絡ください。
給湯フォーセットから湯が漏れる。 給湯フォーセットから湯が出ない。	給湯フォーセットパッキンに異物が挟まった。給湯フォーセットの消耗	主電源スイッチを切って、タンクの水抜きをしてから、給湯フォーセットを分解してまる洗いし、再組付けします。 給湯フォーセットに破損、変形や摩耗がある場合は再組付け前に部品(パッキン等)を交換する。 給湯フォーセットの部品注文は、販売代理店または弊社コールセンターにお問い合わせください。
抽出していないのに、スプレーヘッドから湯が漏れる	部品の消耗または故障	主電源スイッチを切って、弊社コールセンターにご連絡ください。
オーバーフロー口から水漏れする	部品の消耗または故障。給水電磁弁に異物が挟まった タンク内のお湯が膨張または沸騰して溢れた	主電源スイッチを切って、弊社コールセンターにご連絡ください。 主電源スイッチを切っても、水漏れする場合は、元栓を閉めてください。
抽出開始後、コンテナの LED ランプゲージが色 1(標準設定:白)点滅ではなく青点灯になることがある	温め不足のコンテナにコーヒーを抽出した エアコンの風や冷えた外気が当たる場所で使用している	コンテナ内に 0.1ℓ以上溜まっていて温度が 75℃未満のとき青点灯します。コンテナ内のコーヒーの廃棄が必要です。 回避するための対処;正しい手順で湯煎をして温めたコンテナにコーヒーを抽出する。(p11 参照) 冷えた風を遮断するか、設置場所を変える。コンテナのウォーマー強さを High にする。
クオリティータイマーが有効な期間だが LED ランプゲージが青点灯になることがある	コンテナの部品故障	コンテナ内温度が 75℃以上なのに再発する場合は、弊社コールセンターにご連絡ください。

保証とアフターサービスについて

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
※記入が無い場合でも、お買い上げ日を証明する書類がある場合は、本保証書と一緒に保管してください。
- 保証書記載の修理規定をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼される時

取扱説明書の内容をお確かめいただき、不具合が直らないときは電源プラグをコンセントから抜き、当社に修理についてご相談ください。

- 保証期間中の修理
保証書の規定により無料修理致します。お買上げの販売店または当社までお申し出ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理をさせていただきます。当社にご相談ください。
- 販売店が独自に定める延長保証(長期保証)サービスをご利用の場合
お買い求めの販売店にご相談ください。

コールセンター

ブルーマチックジャパン株式会社

045-947-0804

受付時間: 365日 24時間

※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|--------------------------|
| ●お名前 | ●商品名 G4 GemX Twin Brewer |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の状態、状況(出来るだけ詳しく) |

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、適切に洗浄してください。

使用開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄してください。

使用中に取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちにご使用を止め、当社へご連絡ください。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、補修用性能部品について、最終輸入日から5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

第7条. 登録情報の変更

以下の場合には、お客様におかれましては、速やかにブルーマチックコールセンターまでご連絡ください。ご通知いただけなかった場合には、本保証が適用されない場合があります。なお、保証書に記載されたお客様情報の変更は、保証書に記載されたお客様から、ご通知いただいた場合に限り承ります。

1. 保証期間中に加入者名の変更や連絡先電話番号、住所等の変更がある場合。本規程をご説明の上、お客様より新しい所有者の情報をご通知ください。系列店の譲渡のみ所有者情報変更を承ります。本製品の第三者への転売や譲渡をされる場合には、本保証は終了となります。

第8条. 個人情報の使用

ブルーマチックは、お客様よりご提供いただいた保証項目、個人情報等を保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供する為、以下の場合に限り、ブルーマチックの責任において、事業協力会社(メーカー・修理会社・販売店・金融機関等)へお客様の個人情報を提供します。

1. 保証修理(代替品の提供を含む。)に際してブルーマチックと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
2. 本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として、お客様に電子メール、郵便物によるアンケート調査。
3. サービス案内およびキャンペーン等の実施。
4. 本保証の品質向上を目的として、お客様における本保証の利用に関する情報を収集し分析すること。
5. 個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。
6. ご提供いただいた個人情報を同意なしに第三者へ提供することはありません。

お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その「利用目的の通知、開示、追加訂正または削除、利用の停止消去および第三者への提供の停止(以下「開示等」といいます。)」に及びます。

第9条. 間接損害

本保証に関する法律上の請求において、間接損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等)、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害(障害に起因する死亡及び怪我を含む。)並びに他の財物に生じた損害に関して、ブルーマチックは一切の責任を負わないものとします。但し、ブルーマチックの故意又は重過失によるものがある場合には、この限りではありません。

第10条. 保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないものとします。

1. お客様又は第三者の故意若しくは過失又はメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び障害。
2. 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障及び損傷。
3. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法とは異なる不適切な使用(日常のお手入れ、改造行為、増設、電池漏洩等)等、取扱いが不適切であることに起因する故障及び損傷。
4. メーカーが定める想定された用法を超える過酷な使用に起因する故障及び損傷(車両、船舶への搭載、高温、高湿度等の特殊な環境での使用を含む。)
5. 破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、塩害、公害、水害、地震、その他天災地変や、異物の混入(金属、カビ、塵、埃、虫、鼠 等)の外部要因事由に起因する故障及び損傷。
6. 消耗品(浄水カートリッジ、クリーナー、フィルターペーパー、パッキング、ガスカート、電池、等ブルーマチックジャパンが指定する部品)の交換に係る費用。
7. 消耗品単体の故障及び損傷。
8. メーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損傷。
9. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品を保有しておらず、本製品の状態が確認できない場合。
10. 経年劣化あるいは使用損耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの(外装品、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリング等のヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由等)。
11. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損害(外観、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む)。
12. 本製品の仕様、構造上又は本来的性質に基づく制限、不利益等。
13. 本製品の付属部品、アクセサリー、周辺機器等の本製品以外の製品の故障、増設機器等の相性に起因する故障及び不具合。
14. ブルーマチックが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、故障の存在を確認できなかった場合。
15. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費用等。
16. 修理を伴わない調整(味や量、ミルク泡立ち、メニュー変更や追加)、清掃。
17. お客様ご自身で付加されたラベル・シート・カバー類、塗装・刻印等を元の状態に復旧する費用。
18. 本製品を日本国外に持ち出された場合の日本国外からの保証修理依頼。
19. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損傷。
20. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損傷。
21. 戦争(宣戦の有無を問わず)、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事変に起因する故障及び損傷。
22. 本製品の損害に係る申告内容の真実性について明らかな疑義がある場合。
23. 本製品と異なる製品(シリアル番号等が異なる場合等)の修理をご依頼された場合や、本製品のシリアル番号が確認できない場合(但し、製品の内蔵データ等から本製品と同一と確認できる場合を除く。)

第11条. 本保証の解約

本保証は加入後から保証期間終了までの間、解約することは出来ません。

第12条. 解除

ブルーマチックは、お客様が、次のいずれかに該当する場合には、お客様に対する書面による通知をもって、本保証を解除することができます。

1. 暴力団、暴力団員(暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。)、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力(以下「反社会的勢力」といいます。)に該当すると認められること。
2. 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められること。
3. 反社会的勢力を不当に利用していると認められること。
4. 法人である場合において、反社会的勢力がその法人の経営を支配し、又はその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
5. その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。

前項の規定による解除が自然故障の後になされた場合であっても、前項各号の事由が生じた時から解除がなされた時まで発生した自然故障については、保証修理を行いません。この場合において、既に保証修理を行っていた時は、ブルーマチックは、当該保証修理費用相当額の返還を請求することができます。

第13条. その他の注意事項

1. 故障並びに損害の認定等についてブルーマチックとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、ブルーマチックは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品において、返却可能日をお知らせしている場合(お客様のご都合でお知らせできない場合を含む。)、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけない時は、ブルーマチックにて処分します。その際には修理費用(キャンセルに伴う一切の費用を含む。)に加え、処分に要した費用の一切を、ブルーマチックの請求に従い速やかにお支払いいただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

第14条. 本規程の変更

1. ブルーマチックは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。
2. 前項に基づき本規程を変更する場合には、ブルーマチックのホームページへの掲載その他適切な方法により、変更内容及び変更時期を事前にお客様に周知することとします。

輸入代理店
ブルーマチックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22

<メモ>

<メモ>



ブルーマチックジャパン株式会社

〒224-0041

神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22

<http://www.brewmatic.co.jp/>



050224